



会長	石橋 信雄	青少年奉仕	小井田和哉
副会長	正部家光彦	幹事	中村 稔彦
クラブ奉仕	正部家光彦	会計	山村 和芳
会長エレクト	正部家光彦	会場監督	築館 智大
職業奉仕	道尻 誠助	直前会長	橋本八右衛門
社会奉仕	深澤 隆	副幹事	増田 敏
国際奉仕	紺野 広	会計補佐	松本 剛典

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・公共イメージ向上委員長 渡辺 孝 同副委員長 峯 正一
 同委員 宮下 悟 同委員 松林 拓司

国際ロータリー会長メッセージ — 2025~26 — 八戸ロータリークラブ スローガン

よいことのために手を取りあおう

感謝し、祝い、新たな一歩となる道標へ

国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツォ

八戸ロータリークラブ会長 石橋 信雄

2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

第3384回例会 2026.1.28

▶ ゲスト

八戸工業大学第二高等学校 和田浩子先生
和田先生は五戸町出身で、八戸高等学校、東北大学理学部生物学科をご卒業されています。その後、八戸工業大学第二高等学校の理科教員として赴任され現在に至っています。生物と物理学の先生をしておられます。それ以外に一般社団法人全日本かるた協会六段、公認審判員、青森県かるた協会会長、青森かるた会会長をされています。

会長要件 石橋 信雄 会長



たいへん寒い日が続いています。きょうは日差しがあるので若干過ごしやすとは思いますが、また明日から寒気が到来するということです。

病院ではコロナやインフルエンザも流行っているとお聞きしていますので、どうぞご自愛いただければと思います。

先週開催されました理事役員会で決議されたことで、皆さまに2件ご報告があります。

①南グループIMが4月4日(土)グランドホテ

ルで開催することになりました。会場の被害により開催延期となっておりましたが開催可能となり、小林ガバナー補佐を中心に調整をしていただき、改めてご案内することとなりました。わがクラブがホストクラブとなりますので。メンバーの皆さんも日程調整を改めてお願いしたいと思います。

②友好クラブの能代ロータリークラブ、横手ロータリークラブさんから頂戴しました見舞金の一部を八戸グランドホテルさんにお渡しすることといたしました。例会場としてたいへん長くお世話になっていることもあり、理事役員会でお諮りし、お渡しすることとなりました。本日の新聞にも再開の予定が掲載されておりましたが、3月から例会場として八戸グランドホテルさんでお世話になる予定です。

先週末、他団体の新年会があり観光も含めて京都に行ってきました。わたしにとっては毎年恒例の京都参りですが、以前より訪日外国人が少なく、混乱もなく神社仏閣を回ることができました。今回は水の神様を司る、そして縁結び、運氣上昇のご利益を得られる貴

船神社や京都最古の歴史を持ち厄除けや災難除けのご利益で知られている通称上賀茂神社を参拝して参りました。

皆さんも同じように感じる方も多いかと思いますが、遠方に赴き、その土地の神様にお参りするのには心が落ち着き、清々しい気持ちにさせていただくものだなと思いました。特に京都に参りますと、平安時代から歴史に対する部分、あるいは自然に対する考え方も感じる次第です。今回お伺いした2つの神社は和泉式部や紫式部のゆかりの地ということもあり、百人一首の和歌への思いをはせることができました。

本日のプログラムは工大二高の和田先生の卓話となります。皆さんご周知かと思いますが、長年八戸ロータリークラブが主催しています百人一首小中学生大会でご指導いただいております。今回の第21回大会にもご協力をいただいております。本日は大会前にぜひ百人一首について思い浮かべて頂くためにお話していただくことになりました。たいへん楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 中村 稔彦 幹事



○2月1日(日)
八戸市百人一首小中学生大会
8:45 南部会館集合
9:00 受付開始
9:30 開会式
14:00 閉会式(予定)

*会場に駐車場はございませんので、お近くの有料駐車場をご利用ください。

今回は多数参加者がお出でいただきます。28名の小中学生、21名のロータリアンにお手伝いいただけることになっています。

お昼のお弁当の用意があります。服装はできれば動きやすい恰好でお願いします。

○2月14日(土) 八戸東RC 65周年記念式典
会場：パークホテル

15:00～ 登録受付開始
16:00～ 記念式典

17:30～ 祝賀会

○2月5日(木) 事務局休暇

○2月例会の出欠のご案内がいつていると思いますので、ぜひご出欠の提出をお忘れなくお願いします。

委員会報告

親睦・会場委員会



○ニコニコボックスの報告

・奥様誕生祝 葛西史浩さん
中村稔彦さん

和田先生、本日の卓話を楽しみにしております。よろしく願いいたします。

橋本八右衛門さん 誰かスキーに行きませんか？

渡辺 孝・小田山紀暢さん ニコニコデー

南グループIMについて

小林幹夫ガバナー補佐



本来なら2月7日(土)に南グループIMをやる予定で12月上旬まで進んでいましたが、12月8日の地震でグランドホテルさんが使えないということ

で一旦保留状態でした。その後、この地区の米谷ガバナーや出演をお願いしています成田秀治さん、成田俊介さん、木皮ポリオプラス委員長と日程調整をした結果、4月4日(土)であれば日程が合うということで日程を決めさせていただきました。それで先週の理事役員会でグランドホテルさんが復活するなら、場所もグランドホテルでやりましょうということで決まりました。今日明日中に皆さんに書面でご案内を差し上げる予定です。

4月4日だとそろそろゴルフの季節かと思っておりますが、南グループのIMはわれわれがホストクラブになっていますし、他のクラブ内外からも参加予定ですので、その日のゴルフは翌週に延期していただいて、皆さんのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



「百人一首と競技かるた」

八戸工業大学第二高等学校 和田浩子先生



わたしが競技かるたと関わらせていただいたのは高校のときにクラブ活動があり、そのときはまだ普通の百人一首だったのですが、大学に入ったところクラブ活動の先輩がいるらしいということであいさつに行こうと思ったところ、ここに名前を書けと言われて、即かるた会に入部させられて、それからずっと関わっています。気がついたら、その先輩がいなくなっていて、クラブ活動には来ていないということでした。

プリントをご覧ください。

1：小倉百人一首の成立とその後

小倉百人一首の成立は鎌倉時代の最初に藤原定家が息子の嫁のお父さんの宇都宮頼綱のから、頼綱は鎌倉幕府の御家人ですが京都の小倉山山荘に別荘があり、そこで襖絵を作りたいという依頼を受けました。そこで百人一首を選んだというのが始まりです。

この木札は北海道だけで使われているものです。下の句が書かれています、ちょっと目立ったような字で書いてあります。これは上の句を読まないそうです。下の句を詠んで下の句の札を取るということをするそうです。これはわれわれが使っている競技かるたの札です。下の句が書かれています、濁点がありません。濁点なしで書かれています。

競技かるたは一対一で行います。他のいろいろな競技は男女に分かれています。競技かるたに関しては普通に男性と女性が戦うということが行われています。対戦では読み手が一人でやっています。高校生が袴をはいて、着物を着てという優雅なイメージがあるかもしれませんが、ふだんはTシャツ、トレパンでやっています。クイーン戦や名人戦などの大きな大会のときは袴と着物ということが推奨されていますが、高校生以下はふだんはこんな感じです。

一対一ですが、団体戦をするときは同じT

シャツを着ているのが1チームで、5人の中で3人以上が勝ったチームを勝ちということで団体戦をしています。

1：小倉百人一首の成立とその後

藤原定家の選定です。宇都宮頼綱という方の依頼を受けて選び直したといわれています。万葉集の時代の一番は天智天皇の歌から始まります。「秋の田の……」。2番は持統天皇の「春すぎて…」、その後は有名な人も有名じゃない人もいますが、平安時代後期から鎌倉時代前期まで、一番最後の100番目は「ももしきや……」という歌で始まっている順徳院の歌で終わっています。

小倉百人一首は室町の中期くらいまでは非本、一般には知られていないものだったのですが、室町後期辺りから、これを手本とする、和歌の初心向け、基本ができていくということからだんだん広まってきます。それが広がってきて、題材にするところによると、例えば小野小町の「百夜、わたしのところに通ったら添い遂げましょう」というときに、99日目で亡くなってしまったといわれる深草少将を題材としたものがあります。

また歌会、歌で戦うというものがありますが、忍ぶ恋というお題で出された2つの歌に対して、「しのぶれど色にでにけりわが恋はものや思ふと人の問ふまで」と詠んだ方と「恋すてふわが名はまだき立ちにけり人知れずこそ思ひそめしか」と詠んだ方は、判定する方がどちらも優秀だということで判定がつかなくて困っていたら、御簾の後から天皇が「しのぶれど……」と詠んだので、「しのぶれど」と詠んだほうを勝ちとしました。負けた方は何日か後にその失意で亡くなってしまったという伝説があったりします。

元歌の「ちはやふる神代も聞かず竜田川からくれなゐに水くくるとは」を題材にして、落語で言われるのは、竜田川というお相撲さんがいました。優勝したときに面会をしよう

と思って、ちはやさんという女の方に言い寄ったらふられた。神代さんという女の方にも言うことを聞いてもらえない。失意の上に竜田川は実家のお豆腐屋さんを継ぐそうです。何年かしたらみすぼらしいなりをした女の人 came。お豆腐屋さんなのでおからはただであげようと思って、おからをあげようとしてよく見たら、自分をふったちはやさんだったのであげたくない。するとちはやさんは悲観して入水（水に入って）しまった、という落語。そういうように落語に題材をもっていくということもあります。

競技かるたのルールのは制定は黒岩涙香がしたといわれています。明治37年に現在のルールの制定に近いものをされました。明治時代になると熱海の海岸、散歩して…の貫一お宮の金色夜叉でかるた会が重要な役割をしていて、男女の出会いの場でかるた会があったそうです。

それから宝塚歌劇団が最初できたばかりのときはかなり百人一首から取った方の名前がついていました。天津乙女、有馬稲子さんなど百人一首から取った名前がたくさんあるそうです。

ちはやふるはアニメ、マンガで、7年前くらいに映画化、実写化で広瀬すずがやった映画が三部作がありました。その後、去年の7月から9月にかけてテレビドラマがあり、ちはやふるブームです。この“ちはやふる”は主人公の女性がちはやさんなので、それが題名になっているかと思います。

この小倉百人一首は研究者によってはかなり謎があるというふうに言われています。本当にいろいろなことをいわれています。例えば代表作でない歌がとられている。教科書にも載っているような有名な歌でないほうが百人一首には取られている。一応作者の名前はついているけれど、実は詠み人知らずという歌が取られている。逆に有名でない歌人なのに採用されている。小倉百人一首に取られたから、この人の名前が残っていた、という歌があったりします。有名な歌人なのに入っていない。額田王、山上憶良。大伴黒主は六歌

仙ですが入っていないということもあります。それから同じ語句が入っている歌が多いので、これがパズルになっているのではないかという研究者もいます。

2：「べらぼう」と百人一首

江戸時代になると、去年の大河ドラマ“べらぼう”で、江戸中期のことを言っていましたけれども、この頃、川柳、狂歌がひじょうに盛んに作られていました。その中で蜀山人が狂歌の百人一首、百人一首のパロディを作っています。六歌仙の中の喜撰法師の方が読まれた歌に「わが庵は都のたつみしかぞ住む世を宇治山と人はいふなり」という歌があります。わたしの庵、住んでいるところは都の南東の方角、しっかり住んでいる（動物の鹿がすむような深い山）のところだ。世の中の人“宇治山”、京都の宇治の地名と憂さを晴らすというウジヤマと呼んでいる。そのパロディとして、「わが庵はみやこの辰巳午ひつじ申酉戌亥子丑寅う治」というふうなパロディになっています。狂歌の中でかなりの名作だと言われています。

川柳は「うち出でてみれば左右に鳥と鹿」というのがありますが、これは何を言っているかといいますと、4番に「田子の浦に**うち出でて見れば**白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ」という歌がありますが、その手前の3番に「あしびきの山鳥の尾の「しだり屋の」ながながし夜をひとりかも寝む」、5番に「奥山にもみち踏み分け鳴く**鹿**の声聞く時ぞ秋は悲しき」。先ほどの川柳に戻ると、「(田子の浦)うち出でてみれば」の両脇に“鳥”と“鹿”がいるよということになっています。なぞなぞのようなクイズ形式になりそうな川柳です。

「其のままにをくしもの句をかり橋の白きをみれば夜ぞ更けにける」も同じパターンです。6番「**かささぎの渡せる橋**に置く霜の白きを見れば夜ぞふけにける」、7番「**天の原**ふりさけ見れば春日なる三笠の山に出でし月かも」阿倍仲麻呂は唐の玄宗皇帝のときのかなり偉い高官で日本に戻って来られなかった

のですが、その時の望郷の歌です。

3：「光る君へ」と百人一首

一昨年大河ドラマ「光る君へ」は紫式部が主人公でした。中心に一条天皇がいて、中宮馨子、道長の娘の彰子、定子の二人の女御とサロンが形成されています。定子には清少納言、彰子には紫式部、和泉式部、小式部内侍などたくさんの女流歌人がいるわけです。百人一首にある方たちの歌の番号が載っています。この時代にかかなりの人が百人一首の中に取られています。

何首か歌の意味をご紹介します。

17番 ちはやぶる神代も聞かず 竜田川 唐紅に水くくるとは

在原業平は六歌仙の一人でこの当時は、イケメンだったかどうかは不明ですが、ひじょうにモテた。

“ちはやぶる”は神にかかる枕詞です。日本の神様は二面性を持っていて、皆さんに優しい穏やかな顔と厳しい荒々しい顔と一人の神様が両面を持っています。その荒々しい方の意味として“ちはやぶる”があります。

歌の意味としては、そういうふうな神様、不思議なことが数多く起こった神々の時代でさえも聞いたことがない。竜田川が唐紅に水をくくり染めにするなんて。倒置法です。

“唐紅”というのは当時最先端の赤を意味するそうです。竜田川が真っ赤に水を染めるなんてということですが、何で染まったと思いますか？もみじで真っ赤になってしまったという歌になります。

57 めぐりあひて見しやそれともわかぬまに 雲がくれにし夜半の月かな（紫式部）

久しぶりにめぐり合って、でもその人かどうかわからないうちに雲間に隠れてしまった夜半の月のようにあの人も消えてしまった。

どの教本を見ても、この友だちというのは幼馴染としか書いてなかったです。一昨年の光る君への中ではこの月は道長を意味していると言っていました。確かに道長も「望月の欠けたることもなしと思へば」と詠んでいますので、“月”というのは道長でもいいのか

なというようなことをこの前の大河を見ながら思っていました。

60 大江山いく野の道の遠ければ

まだふみもみず天の橋立（小式部内侍）

小式部内侍はお母さんが和泉式部というすごく有名な歌人でした。お母さんが再婚した相手と遠くに行ってしまうと、小式部内侍は京都に残された。歌う会があり、ある人がお母さんから文は届きましたか、添削してもらった歌は大丈夫ですかと戯れを言ったことに対して返した歌です。大江山を越えて、いく野は生野という地名と行くとかけています。お母さんは丹後にいるのですが、そこまで遠いので、まだ文も見ず、（足を踏む 行ったこともないし）、文（お便り）もいただいていません。という歌を即興で返したそうです。

62 夜をこめて鳥の空音ははかるとも

よに逢坂の関はゆるさじ（清少納言）

中国の戦国時代に孟嘗君という方がいて、王族だったのですが、秦の国に宰相になってくれないかと請われて行きます。でも行ったところがその国の陰謀で、この人は裏切られるかもしれないと言われて、逃げ出さなければいけなくなった。この人はたくさんの食客をもっていて、ただで飲み食いをさせて養っていましたが、その人たちを連れて逃げようとしたわけです。函谷関というひじょうにかたい関所があって、朝にならないと関所が開かない。その関所に朝に着いてしまい、追手は近づいてくる。食育の人で鳥の鳴きまねが上手な人がいて、鳥の鳴き声を真似してみた



ら、関所の役人が朝になった。暗いけれど鳥が鳴いているしというので関所を開けてくれて無事に逃げる事ができたという故事を踏まえて、清少納言が詠んだ。夜の明けないうちに鳥の空音は図るとも、函谷関のように鳥の鳴きまねをしたら開くかもしれないけれども、決して逢坂の関（あなたと私が逢うような関）は許さないでしょう。

4：競技かるた

ルールは一対一で行います。早く札を取るために上の句で読まれた札が、例えば“む”で始まるのは百枚の中で1枚しかありません。一首しかありません。“む”で始まるのは下句が「霧たちのぼる秋の夕暮」しかありませんので、この札を見たら“む”で取る、というふうに覚えていきます。そういうふうに一字でわかる札が「むすめふさほせ」の7枚入っています。

一番多いには“あ”で始まるのは16首あります。ただ百人一首によっては1回ずつしか読みません。例えば「あさぼらけ」は2

首あります。ですから、「あさぼらけありあけ」なのか、「あさぼらけ宇治の川霧」なのかは聞き分けなければいけません。「あさぼらけ」は他の15枚が読まれてしまうと残り1枚は“あ”で取れます。ということを試合中は延々と数えながらわれわれは競技をしています。

Q & A

Q道尻：どういうふうに使われますか？

A和田：最初に100枚の中に入っていない、これから始まるよという序歌を読みます。

「難波津に咲くやこの花冬ごもり
今を春べと 咲くやこの花」

お礼贈呈：

石橋会長：きょうはありがとうございました。大変勉強できる資料をいただきましたので、2月のかるた大会には皆さん思いをもって臨んでいただければと思います。

出席報告						出席委員会	
第3384回例会（1月28日）			第3382回例会（1月14日）				
出席率		59.1%	出席率		100%	修正出席率	%
総会員数		68名	出席数	39名	総会員数		名
					メイクアップした人数	名	
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員		出席免除会員	欠席数	名
66名	2名	27名	名		名		